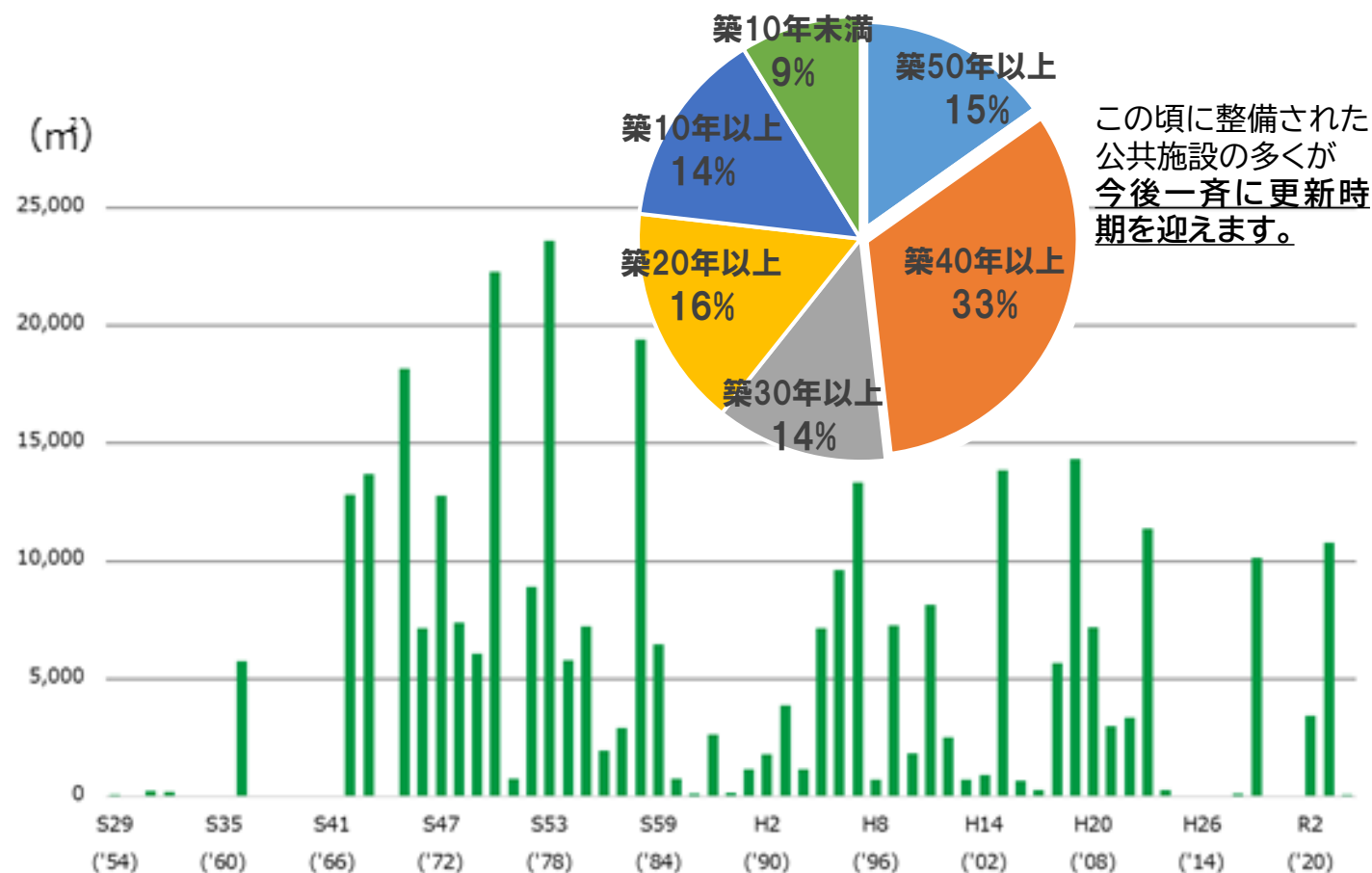
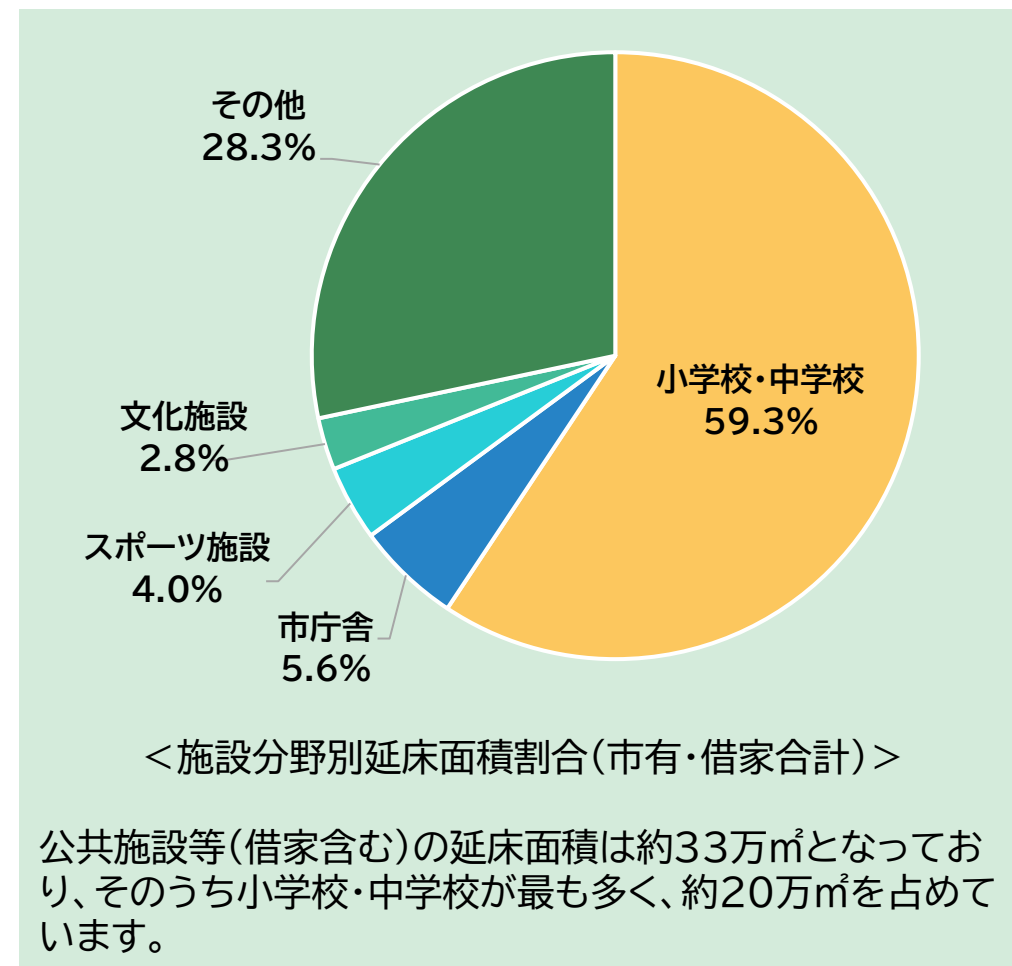


01 公共施設の老朽化

市の公共施設は、高度経済成長期の急激な人口増加により、昭和40年代から昭和50年代までにかけて教育施設を中心に整備が進められました。

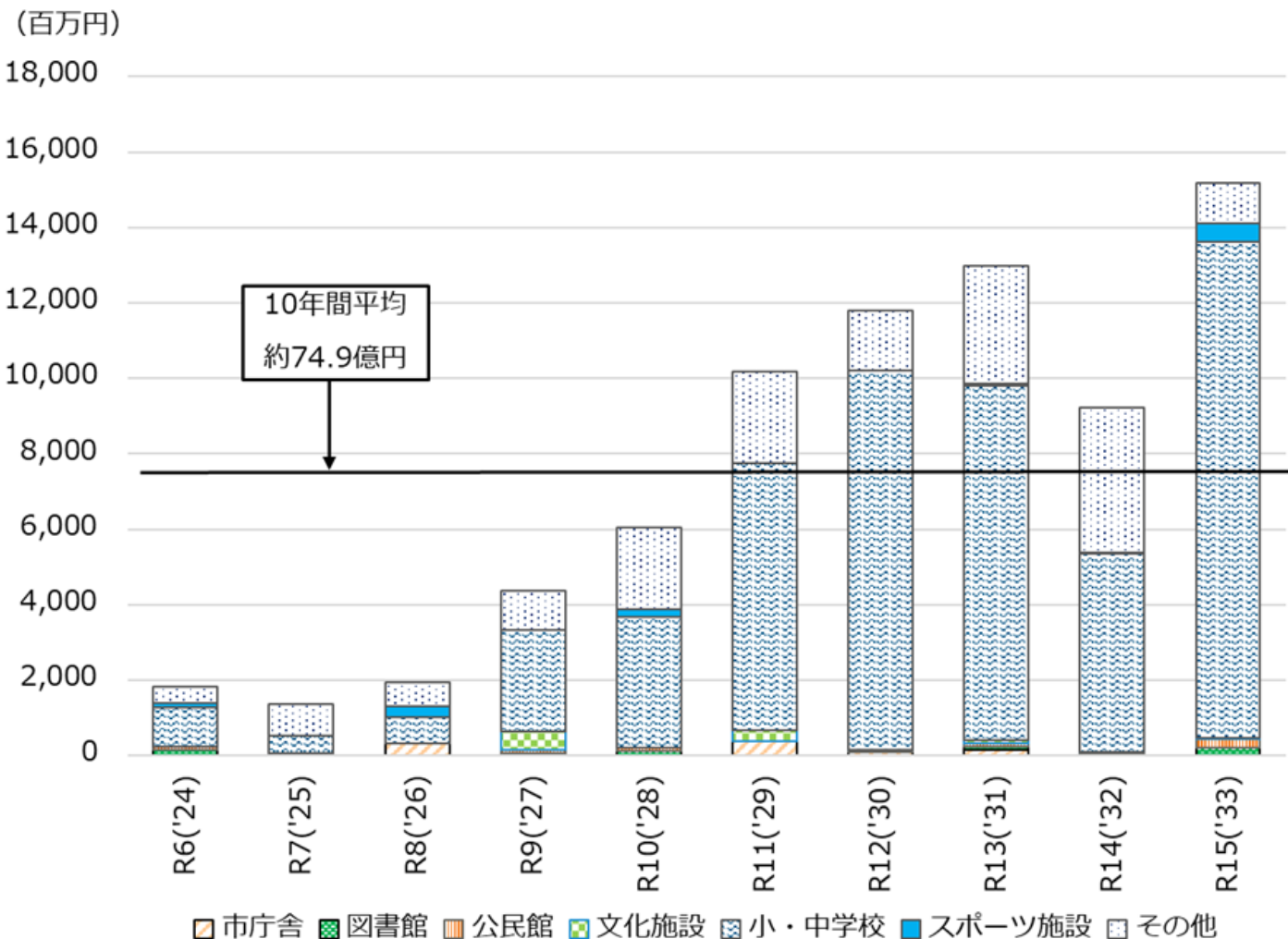


< 築年別施設整備量(総延床面積) >



西東京市の公共施設の現状

02 公共施設の将来見通し(費用)



- 市所有の公共施設の更新等を行った場合の推計

※既存の公共施設を単純に維持管理・更新した場合

- 今後10年間の更新等に係る

費用 **約749億円**

(1年当たり:約75億円)



近年は1年あたり40～60億円台で推移

< 公共施設の更新等費用推計 >